

福島市に保護者の要望を伝えました

福島市立幼稚園には、「福島市公立幼稚園 PTA 連合会」という組織があります。平成元年度に発足し、子どもたちが安心して健やかな日々を過ごせるよう、PTA 会員と先生方で協力し合い活動しています。

その活動の一環として、充実した幼稚園教育が受けられる環境作りや保護者の子育て支援などについて、連合会としての要望を福島市に伝える機会を設けています。それが、「福島市との教育懇談会」です。今年度は、昨日11月16日（火）市民会館で開催しました。



（要望書の回答することも未来部長様・中央）

【出席者（敬称略）】

○福島市より

こども未来部長・次長

幼稚園・保育課長

教育部次長兼教育総務課長

教育施設管理課長

幼保課課長補佐兼管理係長・主事

同 指導係主査

○連合会より

会長・副会長・会計

行財政委員長・委員

【要望事項と回答】

1 預かり保育の充実について

○全園に預かり保育指導員の複数配置をお願いします

→ハローワークで募集しているが応募がない。今後も充実に努める。

○より一層の保護者の子育て支援のため、預かり保育の早朝実施をお願いします

→保育園や認定こども園と同等の預かりを実施することは難しいが、体制を整えるよう努力していく。

長期休業中の預かり保育については、今後も実施できるよう進めている。

2 給食の導入について

○週1回程度でも、給食（宅配の弁当を含む）の実施をお願いします

→保護者の方には、愛情のこもったお弁当を作っていただき感謝している。

食育の視点から、みんなで同じものを食べることは有意義である。

幼稚園には調理室がないので、外注になるか学校給食と同じものになるかと思われる。給食センターを利用する場合、搬入の方法や食器の数など問題を解決する必要がある。

3 特別支援教育支援員の増員について

○全園への特別支援教育支援員の配置をお願いします

→幼児一人一人の特性に応じて等しく教育や保育を受けることが大事と考えている。

個々の特性に応じて学ぶことができるよう、適切な配置を検討していく。

4 幼小接続の一層の推進について

○幼小接続事業の活発化をお願いします

→今年度は、20の中学校区で勉強会などを306回実施した。

コロナ禍で児童生徒同士のやり取りも手紙やリモートでの実践例がある。

今後も、系統だった学びの推進に力を入れていきたい。

<昨年度の要望内容と回答（参考までに）>

1 預かり保育の充実について

○全園に預かり保育指導員の複数配置をお願いします

→人員不足なのは十分承知しています。今後も人員確保を行っていきます。

○毎日利用できるように、長期休業中の預かり保育の実施をお願いします。

→実施できるよう、各園とも話し合い検討していきます。

！ 昨年度の要望に应运えて、今年度、夏休み期間中に試行として3日間の預かり保育が実施されました。

2 給食の導入について

○週1回程度でも給食（宅配の弁当を含む）の実施をお願いします

→業者による宅配弁当等で対応できればと考えている。アレルギー等の対応もあるの
で、今後検討していく。

！ 今年度、幼小接続の意味合いも含めて、小学校の学校給食を幼稚園にも提供する例が増えています。

3 市民へのPRについて

○公立幼稚園への認知度が高まるような市民へのPRをお願いします

→1歳6か月健診時にも、公立幼稚園の存在を知らせていきたい。

次年度（令和3年度）、園児募集ポスターのデザインを一新すると共に、掲示する
場所も工夫していきたい。

！ 連合会で、公立幼稚園をアピールするチラシを作成し、市（幼稚園・保育課）の協力
で健診の場で配付したり各公共施設の置いてもらったりして、アピールの機会を多く持
ってきました。

！ 今年度、園児募集のポスターが、何年か振りにリニューアルされました。

連合会として、毎年要望内容を市に伝えて保育環境や子育て支援の面での改善を働きかけてきました。少しずつではありますが、改善や改善に向けての取組が見られています。

今後も、保護者、先生方、市と協力して、子どもたちが学びやすい環境や保護者が子育てしやすい環境を整えていきたいと考えています。